

令和3年度

# 事業計画書

(抜粋版)

社会福祉法人 楽友会

## 経営理念

高齢者福祉施設の経営主体である社会福祉法人楽友会は、利用者はもとより地域社会における福祉の充実に貢献するために、適正かつ活力ある経営に努めます。

また、楽友会は高い公共性と倫理性を旨として、利用者の負託に応えるとともに、地域社会における福祉推進の主導的役割を果たしていきます。

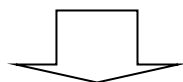
1. 楽友会は、すべての人の基本的人権を尊重します。
2. 楽友会は、利用者に「安全」と「安心」を提供します。
3. 楽友会は、利用者本位の施設経営を行います。
4. 楽友会は、職員の資質の向上に努めます。
5. 楽友会は、地域社会の福祉の充実増進に努めます。
6. 楽友会は、地域に開かれた身近な施設経

## 利用者権利宣言

社会福祉法人楽友会は、提供する全てのサービス利用者の権利を尊重いたします。

利用者の皆様は、

- ・ 基本的人権が尊重されます。
- ・ 生活者として「安全・安心」が保障されます。
- ・ 自己決定権が尊重されます。
- ・ プライバシーが尊重されます。
- ・ 財産権が尊重されます。
- ・ 知る権利が尊重されます。
- ・ 職員による専門的・高品質のサービスを受ける権利を有します。
- ・ 意見・質問・苦情を表明する権利を有します。



## 将来イメージと将来目標（長期ビジョン2015）

楽友会は、元気な時も、見守りが必要になっても、看取りの最期の時まで、住み慣れた家、住み慣れた地域で安心して生活できるように、福祉・介護・予防・生活支援・住まい・医療・看護・リハビリの相互連携体制が整った多摩市の総合的な高齢者地域包括ケアの一大拠点をめざしていきます。

### 将来イメージ

介護や福祉の「総合商社」として確固たる拠点を作り、地域においては地域の住民の暮らしに役立つ介護や福祉のコンビニエンスストア的な存在になる。

### 法人としての目標

- ・ 地域社会にとって頼りになり、地域住民に身近に感じてもらえる法人
- ・ 多摩地域における高齢者福祉サービスをリードする法人

## I. 基本方針

### 令和3年度 基本方針

- 【 サービス 】 新型コロナウイルス等感染症対策を継続し、人に寄り添い、安心できるサービスを提供します。
- 【 人材育成 】 WEB研修など新たな手法も活用しつつ職員の資格取得やスキルの向上を支援し、働きがいとやりがいのある法人を目指します。
- 【 地域・社会 】 地域福祉の充実増進にむけて、改めて地域の社会福祉法人や関係団体との協働・連携に取り組みます。

令和2年の東京都の高齢化率（総人口に占める65歳以上の割合）は、平成29年から4年連続でほぼ横ばいの23.3%でしたが、80歳以上人口が初めて100万人を上回りました。また、当法人が位置する多摩市の高齢化率は28.9%（令和3年1月時点）となり、1年間で約1%上昇しています。この傾向は今後も続いていくことが予想され、引き続き福祉・介護のサービス需要の高まりが推測されます。

ところで、昨年度の高齢者福祉介護の動向を振り返ると、やはり新型コロナウイルスへの対応が大きな出来事として挙げられます。当法人においても職員が一丸となって感染防止に取り組みました。結果、通所介護事業の一時休止や入居施設の面会制限の実施など、ご利用者やご家族、そして関係者の皆様にはご不便をおかけすることになりましたが、感染拡大は未然に防ぐことができました。依然として高齢者施設でのクラスター発生事例の増加にみられるよう、まだまだ予断を許さない状況です。引き続き感染予防と感染拡大防止に取り組んでまいります。

ここ1年余りの間、新型コロナウイルスにより社会や人と人とのつながりには大きな変化が生じました。そこで令和3年度事業計画では、そのような状況下であるからこそ、人に寄り添い、人と人の確かな交流を作り、いつでも変わらず安心してサービスを利用していただけられることを目指し、3つの基本方針を定めました。感染症対策の強化、新たな手法を活用した人材育成、そして、新型コロナウイルスにより繋がり方の変化が生じた地域の方や諸団体との改めての関係づくり。これら基本方針を念頭に置き、令和3年度も地域福祉の充実増進にむけて一步一步着実に進んでまいります。

社会福祉法人 楽友会職員一同

## Ⅱ. 法人の主要な取り組み

### 1. 重点取組項目

項目	取り組み
山王下施設大規模修繕	これまでの成果を基に築 25 年目を迎える施設の大規模修繕に引き続き取り組む。
人事制度の見直し及び改編	等級制度の見直しを基に給与制度や人事考課制度の改編に取り組む。
法人内部管理体制の整備	コンプライアンスを重視し、各種手続きの点検、見直しに取り組む。
介護保険業務システムソフトの入替更新	現在使用しているソフトのリース期間終了に伴い、令和 3 年度介護保険制度改定から本格導入される介護データベースシステム「LIFE」※1に対応するシステムソフトを導入する。

※1 「LIFE」とは、Long-term care Information system For Evidence の略称。利用者の状態やサービスの内容などの情報を幅広く集める国のデータベースシステム。システムを活用した情報蓄積が各種サービスにおける加算の条件となる。

### 2. 第2期経営計画への対応

項目	取り組み	新規・継続
人事制度の見直し及び改編	キャリアパス体系の整備とともに給与制度、人事考課制度の改編に取り組む。	第1期計画から継続
グループホーム開設にむけて	多摩市の事業者公募にむけて、開設場所の確保や開設計画等の準備を進める。	第1期計画から継続

### 3. 主要な施設整備

項目	目的
山王下施設大規模改修	築 25 年を迎える施設設備等の更新及び各種機能の維持向上
特養特殊浴槽	耐用年数を超える介護設備の更新

### 4. 運営する事業

種別	施設名	利用者定員
特別養護老人ホーム	白楽荘	150
短期入所生活介護	白楽荘	10

軽費老人ホーム	偕楽荘	50
通所介護	白楽荘デイサービスえがお	35 (1日)
認知症対応型通所介護	白楽荘デイサービスほのぼの	12 (1日)
認知症対応型通所介護	ほのぼの堀之内	12 (1日)
訪問介護	白楽荘訪問介護	
居宅介護支援	白楽荘居宅介護支援事業所	
居宅介護支援	白楽荘居宅介護支援事業所 とよがおか	
地域包括支援センター	多摩市多摩センター地域包括支援センター	
地域包括支援センター	八王子市高齢者あんしん相談センター由木東	
東京都介護員養成研修	介護職員初任者研修	12

### Ⅲ. 施設・事業所の主要な取り組み

#### 1. 入所サービス

##### 【 施設事業所 】

施設事業所名	特別養護老人ホーム 白楽荘
定員	150名
基本方針	利用者が安心して毎日を過ごせるよう各部門の職員が専門性を活かし協働して支援に取り組む。また、行政、医療機関、在宅支援事業所等の関係機関と積極的に連携し、高齢者福祉のセーフティネットとしての役割を果たす。

##### 【 重点取組項目 】

###### ● 利用率目標

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用率	95%	95%	95%

###### ● 提供サービスの充実・向上

- ・ 各フロアの共有スペースの環境を整備し、過ごしやすい空間を作る。
- ・ 個々の利用者のQOL向上を目指したケアプランの作成及びケアの提供を行う。
- ・ 看取りに接した家族及び職員へのグリーフケアの体制構築に向けて取り組む。

###### ● 人材育成・やりがい・はたらきがい

- ・ 専門技術の向上及び知識習得につながる階層別研修などの研修機会を提供する。
- ・ 職員の意見が運営に反映できる場を作る。
- ・ ICT機能の導入及び活用法の検討を行い、業務効率化に向けて取り組む。
- ・ 介護業務における職員の身体的負担軽減が図れるよう検討し対策を講じる。

###### ● 地域にむけて

- ・ 虐待等による緊急ケースを適宜受け入れ、高齢者福祉のセーフティネットとしての地域からの信頼に応える。
- ・ 施設職員による施設サービスのPR活動と積極的な地域活動の推進。

## ii. 軽費老人ホーム

### 【 施設事業所 】

施設事業所名	軽費老人ホームA型 偕楽荘
定員	50名
基本方針	自立型の高齢者福祉施設として、施設入居者及び地域高齢者の健康寿命増進と介護予防に取り組み、高齢者の明るくいきいきした生活の実現に取り組む。

### 【 重点取組項目 】

#### ● 利用率目標

	令和1年度	令和2年度	令和3年度
利用率	100%	100%	100%

#### ● 提供サービスの充実・向上

- ・ 健康寿命の増進にむけて介護予防やフレイル予防に取り組む。
- ・ 利用者の日常生活上の事故等に対するリスクの低減に取り組む。
- ・ 感染症対策を講じて、新しい生活様式を取り入れた季節ごとの行事やイベントを計画する。

#### ● 人材育成・やりがい・はたらきがい

- ・ 軽費老人ホーム職員として必要な知識や対人援助技術について、研修等を通じて学ぶ。
- ・ 他の軽費老人ホームや種別の違う施設の取り組みを知り、専門職としての知識を深める。
- ・ 全職員が個々の担当業務を通してリーダー役を務め、職員間の調整や進行管理を通じてマネジメント能力を高める。

#### ● 地域にむけて

- ・ 地域高齢者の健康寿命増進にむけて、介護予防等の取り組みを地域高齢者向けに実施する。
- ・ 施設利用者が地域の一員として活動する取組みを実施する。
- ・ 地域の高齢者等にむけて、施設PR活動を拡充する。

## 2. 在宅サービス

### i. 通所介護

#### 【 施設事業所 】

施設事業所名	白楽荘デイサービスえがお
定員(1日)	35名
基本方針	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 新型コロナウイルス感染症対策に万全を期し、利用者の意向や利用者の居宅生活の継続に繋がる効果が得られる取り組みを行う。</li><li>・ 日常生活に役立つリハビリや趣味活動、認知症療法などを効果的に行い、利用者が安心して地域で生活出来るように支援する。</li><li>・ 家族の介護負担が軽減できるよう、家族支援と地域活動への取り組みを行う。</li></ul>

#### 【 重点取組項目 】

##### ● 利用率目標

	令和1年度	令和2年度	令和3年度
利用率	75.0%	3.5%	63%

##### ● 提供サービスの充実・向上

- ・ 小集団での活動を通して効果的な生活リハビリの提供。
- ・ 適切なアセスメントに基づく通所介護計画書の作成により個々の支援内容の充実を図る。
- ・ 利用者個々の希望や要望等を取り入れたアクティビティや趣味活動の充実。

##### ● 人材育成・やりがい・はたらきがい

- ・ 職員研修の充実。
- ・ 全職員を対象にした職員会議を定期的で開催する。
- ・ 各種委員会を設け、担当職員のアイデアを活かして取り組みの実現。

##### ● 地域にむけて

- ・ 近隣学校からの介護体験等の受入れを行う。
- ・ 多摩ボランティアセンターとの連携を図り、地域ボランティアとの関わりを深める。



## ii. 認知症対応型通所介護

### 【 施設事業所 】

施設事業所名	白楽荘デイサービスセンターほのぼの
定員(1日)	12名
基本方針	新型コロナウイルス感染症防止対策を図り、感染リスクを低減させた認知症支援プログラムの充実に取り組む。また、認知症になっても暮らしやすい街づくりを目指し、関係機関と連携して地域に認知症支援が広がる活動に取り組む。

### 【 重点取組項目 】

#### ● 利用率目標

	令和1年度	令和2年度	令和3年度
利用率	75.0%	80.0%	80%

#### ● 提供サービスの充実・向上

- ・ 認知症の症状に合わせた各種療法活動の充実。
- ・ 少人数グループ活動による落ち着いた雰囲気での効果的な認知症支援の実践。

#### ● 人材育成・やりがい・はたらきがい

- ・ 職員研修の充実。
- ・ 全職員を対象にした職員会議を定期的で開催する。
- ・ 各種委員会を設け、担当職員のアイデアを活かして取り組みを実現する。

#### ● 地域にむけて

- ・ 近隣学校からの介護体験等の受入れを行う。
- ・ 多摩ボランティアセンターとの連携を図り、地域ボランティアとの関わりを深める。

## 【 施設事業所 】

施設事業所名	認知症対応型通所介護 ほのぼの堀之内
定員(1日)	12名
基本方針	新型コロナウイルス感染症の対策を取りながら、認知症の支援と事業の継続に取り組んでいく。また、コロナ禍においても利用者支援の充実が図れるよう、感染対策を講じた認知症支援プログラムを作り、利用者が可能な限り自宅での生活が継続出来るよう認知症ケアに取り組む。

## 【 重点取組項目 】

### ● 利用率目標

	令和1年度	令和2年度	令和3年度
利用率	75.0%	84.0%	84%

### ● 提供サービスの充実・向上

- ・ 新型コロナウイルス感染症対策を講じた認知症支援の充実。
- ・ 利用者や家族の意向を尊重した個別支援の充実。

### ● 人材育成・やりがい・はたらきがい

- ・ 職員の適性や個々の希望を考慮した研修への参加促進。
- ・ 職員のアイデアや意見を積極的に取り入れた業務改善。

### ● 地域にむけて

- ・ 近隣地域や学校との関係づくりに取り組み、ボランティアの受入れを行う。
- ・ 認知症に理解ある地域づくりのため、地域住民等に認知症をより知ってもらう活動を実施する。

### iii. 訪問介護

#### 【 施設事業所 】

施設事業所名	白楽荘訪問介護事業所
基本方針	新型コロナウイルス感染症の拡大により、訪問介護サービスの需要が高まった。地域のニーズに応えられるようサービスの拡充に取り組む。また、要介護・要支援者が在宅での生活の継続が出来るよう、生活全般のサポートに取り組む。

#### 【 重点取組項目 】

##### ● 収益目標

	令和1年度	令和2年度	令和3年度
収益（千円）	11,900	12,000	14,200

##### ● 提供サービスの充実・向上

- ・ 安定したサービス提供のための業務の標準化。
- ・ 満足度の高いサービスの提供にむけ、利用者や家族の要望やニーズの的確な把握。

##### ● 人材育成・やりがい・はたらきがい

- ・ 登録ヘルパーへの研修の充実。
- ・ 登録ヘルパー同士の交流機会を増やし支援内容やケア方法等の情報共有を強化。

##### ● 地域にむけて

- ・ 近隣学校からの実習生の受け入れ。
- ・ 関係機関や他の事業所との交流を図り、訪問介護事業のPRに取り組む。

#### iv. 短期入所生活介護

##### 【 施設事業所 】

施設事業所名	特別養護老人ホーム 白楽荘
定員	10名（他 特養空床利用10床）
基本方針	利用者が地域の中で相互に社会的関係を築きながら、住み慣れた自宅での生活を継続できるように、利用者の孤立感の解消や心身機能の維持回復、家族の介護負担の軽減を図る。

##### 【 重点取組項目 】

###### ● 利用率目標

	令和1年度	令和2年度	令和3年度
利用率	96.0%	100%	100%

###### ● 提供サービスの充実・向上

- ・ 在宅生活を継続するために、利用者個々の自宅での生活を意識した支援を行う。
- ・ 利用毎に滞在するフロアが違って、同様に統一したサービスが提供できるよう支援方法の共有化に取り組む。

###### ● 人材育成・やりがい・はたらきがい

- ・ 専門技術の向上及び知識習得につながる階層別研修などの研修機会を提供する。
- ・ ICT 機能の導入及び活用法の検討を行い、業務効率化に向けて取り組む。
- ・ 主に介護業務における職員の身体的負担軽減が図れるよう検討し対策を講じる。

###### ● 地域にむけて

- ・ 虐待等による緊急ケースを適宜受け入れ、高齢者福祉のセーフティネットとして地域からの信頼に応える。

## v. 居宅介護支援

### 【 施設事業所 】

施設事業所名	白楽荘居宅介護支援事業所
基本方針	新型コロナウイルス感染症対策を講じて、必要な訪問活動やサービス事業者間の調整業務を行い、在宅の利用者が自立した生活が送れるよう支援していく。

### 【 重点取組項目 】

#### ● 収益目標

	令和1年度	令和2年度	令和3年度
収益(千円)	17,210	18,650	20,150

#### ● 提供サービスの充実・向上

<ul style="list-style-type: none"><li>・ 事業所内で利用者等の情報を共有し利用者支援の充実を図る。</li><li>・ 適切なケアプラン作成によるケアマネジメントの充実。</li></ul>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

#### ● 人材育成・やりがい・はたらきがい

<ul style="list-style-type: none"><li>・ 新任職員へのケアマネジメント業務の指導に取り組む。</li><li>・ 事務作業の効率化をはかり職員の業務負担の軽減に取り組む。</li></ul>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

#### ● 地域にむけて

<ul style="list-style-type: none"><li>・ 関係機関や地域包括支援センターとの連携を図る。</li><li>・ 地域住民や各種団体との連携を図る。</li></ul>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 【 施設事業所 】

施設事業所名	白楽荘居宅介護支援事業所とよがおか
基本方針	在宅のご利用者が適切に介護サービスを受けられるよう、介護支援専門員が居宅サービス計画書の作成を行い、自立した生活が送れるよう支援していく。

## 【 重点取組項目 】

### ● 収益目標

	令和1年度	令和2年度	令和3年度
収益（千円）		17,550	15,900

### ● 提供サービスの充実・向上

- ・ 適切なケアプラン作成によるケアマネジメントの充実。
- ・ 事業所運営体制の整備。

### ● 人材育成・やりがい・はたらきがい

- ・ 事務作業の効率化をはかり職員の業務負担の軽減に取り組む。
- ・ 事例検討会や勉強会を通してケアマネジメント技術の向上に努める。
- ・ 各種研修への参加。

### ● 地域にむけて

- ・ 豊ヶ丘商店会、自治会の発足を通して地域の活動に参加する。
- ・ 関係機関や地域包括支援センターとの連携を図る。

### 3. 受託事業

#### i. 地域包括支援センター

##### 【 施設事業所 】

施設事業所名	多摩市多摩センター地域包括支援センター
基本方針	団塊の世代の全てが75歳以上となる令和7年を目途に、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケア体制の構築に向けて、以下の方針を掲げる。 (1) 地域包括ケアシステムの構築 (2) 地域特性や課題からそのニーズの把握、地域資源の開発や地域課題解決に向けた政策提案 (3) 介護事業者・医療機関等とのネットワーク構築 (4) 第1号介護予防支援事業等の実施 (5) 介護支援専門員に対する支援・指導の実施 (6) 地域ケア会議の運営 (7) 市（基幹型地域包括支援センター等）との連携 (8) 認知症高齢者への支援 (9) 「公的な機関」としての公正・中立性の確保

##### 【 重点取組項目 】

###### ● 提供サービスの充実・向上

- ・ 自立支援型ケアマネジメント能力の向上。
- ・ 「総合相談支援業務」能力の向上。

###### ● 人材育成・やりがい・はたらきがい

- ・ 職員の業務遂行能力の向上。
- ・ 職務等から発生するストレスの軽減。

###### ● 市の実施方針への取り組み

- ・ 地域特性・課題やニーズの把握、地域資源の開発や地域課題解決に向けた政策提案。
- ・ 介護事業者・医療機関等とのネットワーク構築。
- ・ 第1号介護予防支援事業等の実施。
- ・ 介護支援専門員に対する支援・指導の実施。
- ・ 地域ケア会議の運営。
- ・ 認知症高齢者への支援。
- ・ 「公的な機関」としての公正・中立的な事業運営。

## 【施設事業所】

施設事業所名	八王子市高齢者あんしん相談センター由木東
基本方針	「高齢者が心豊かに暮らせる市民生活の推進」及び「高齢者が生きがいを持ち安心して生活できる地域づくり」を実現するために、地域包括ケアシステムの強化を担当地域・市・関係機関と連携して進める。公共性・地域性・協同性の視点を持ち実施する。

## 【重点取組項目】

### ● 提供サービスの充実・向上

- ・ 職員ひとりひとりの資質向上を図る。
- ・ チームアプローチの遂行。
- ・ 他機関との連携を意識的に行う。
- ・ 市民課、地域福祉推進拠点由木東と連携しスムーズな窓口対応を行う。

### ● 人材育成・やりがい・はたらきがい

- ・ 研修や地域での会議へ積極的に参加する。
- ・ 各担当が他機関と連携し講座や会議を開催する。
- ・ ライフワークバランスの実現や資格取得等ができるように支援する。

### ● 市の実施方針への取り組み

- ・ 八王子版自立支援「リエイブルメント」を地域や事業所に浸透させる。
- ・ 担当地域や近隣地域の高齢者関係以外の事業所・関係機関と連携し、社会資源の開発や地域づくりを行う。
- ・ 「認知症になっても安心して生活できる地域」を目指し各事業を行う。
- ・ 地域や関係機関と連携し社会資源の開発や地域づくりを行う。
- ・ 介護支援専門員への適切なアドバイスやサポートを行う。
- ・ 高齢者のICT活用推進